

大甕神社の宿魂石

日上市

昔、天照大神の命により、鹿島を治める武甕槌命と香取を治める経津主命が、世の中を平定しようとしていました。

しかし、東国地方に一大勢力を持っていた悪神・天津甕星香背男だけは、大甕山の上に陣取り、巨大な岩と化して抵抗しておりました。勇猛なる勢力の前に、鹿島・香取の二神は成すすべなく困り果てていました。そこで、二神に代わり、倭文神武葉槌命が遣わされました。武葉槌命がその大きな岩を蹴り上げると、たちまち巨石は三つに砕けて飛び散り、香背男は滅ぼされました。



砕けた石のひとつは、石神(現在の東海村・石神社)に、もうひとつは石塚(現在の城里町・風隼神社)に、最後のひとつは石井(現在の笠間市・石井神社)に落下したと言われ、地名や神社の始まりとなっています。大甕神社の祭神は武葉槌命ですが、この神社が建つ大きな岩山は香背男が化した岩の根元で、その魂をこれに封じ込めたことから「宿魂石」と呼ばれているそうです。

〈参考文献〉日本書紀第九段一書(一)
日上市史
大甕神社・神主講和及び大甕神社資料
※掲載事項には、諸説あります。



「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく
ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社
本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>

この一年間のご愛顧ありがとうございました。
来年もよろしくお願ひ申し上げます。良いお年をお迎えください。